**久留米大学認定看護師教育センター　入学試験問題　がん放射線療法看護分野**

加齢に伴う機能変化として、正しいのはどれですか。

1. 瞳孔が散大する。
2. 高音域の聴覚が低下する。
3. 味覚が鋭敏になる。
4. 嗅覚の閾値が低下する。

下記のうち、がん抑制遺伝子はどれですか。

1. EGFR
2. BRAF
3. MYC
4. TP53

抗腫瘍免疫機能の低下によって、がんになる過程を示す「がん免疫編集理論」において、

第3相に該当するのはどれですか。

1. 逃避相
2. 排除相
3. 増殖相
4. 平衡相

膠芽腫の特徴として、正しいのはどれですか。

1. IDH遺伝子変異がない。
2. IDH遺伝子変異がなく、かつ1p19q共欠失がある。
3. IDH遺伝子変異がある。
4. IDH遺伝子変異があり、かつ1p19q共欠失がある。

発達課題論(Erik H. Erikson)において「成人前期」に該当する課題は、どれですか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| a． | 同一性 | 対 | 同一性拡散 |
| b． | 勤勉 | 対 | 劣等感 |
| c． | 親密 | 対 | 孤立 |
| d． | 生殖性 | 対 | 停滞 |

Dorothea E. Oremは、「患者が自らの健康のために意図的な行動をとれるようにすることが大切で

ある」と提唱し、意図的行為をセルフケア行動の活動形態の3局面で捉えています。下記のうち、

該当しないのはどれですか。

1. 評価的操作
2. 移行的操作
3. 生産的操作
4. 継続的操作

呼吸困難の評価ツールと内容の組み合わせで、正しいのはどれですか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| a. | NRS | ― | 1から10までの数字をひとつ選んでもらう |
| b. | VAS | ― | 100mmの線上で、患者にマークしてもらう |
| c. | CDS | ― | 得点が低いほど、呼吸困難が強いことを表す |
| d. | STAS-J | ― | 症状への対処の必要性を自己評価する |

放射線治療による催吐リスクが最も高いのは、どれですか。

1. 頭蓋への照射
2. 上腹部への照射
3. 全身への照射
4. 骨盤への照射

下記のうち、医療者など周囲への被ばくの可能性が最も低いのはどれですか。

a. 子宮頸がんに対する高線量率腔内照射

b. 前立腺がんに対する永久挿入組織内照射

c. 甲状腺がん再発に対するRI内用療法

d. 舌がんに対する低線量率組織内照射

放射線治療で用いられる照射関連補助具のうち「線量分布修正器具」の組み合わせはどれですか。

1. ボーラス
2. シェル
3. マルチリーフコリメータ
4. ウェッジフィルタ

解答選択肢

a．1 2　　　b．1 4　　　c．2 3　　　d．3 4